

受 験 番 号					

氏 名	

2025年度
放送大学大学院修士課程
文化科学研究科 文化科学専攻
臨床心理学プログラム
筆記試験問題

試験日：2024年10月5日（土）

試験時間：9時30分～11時30分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この試験問題冊子は開かないでください。
2. 解答には、黒鉛筆かシャープペンシルを使用してください。
3. 配付されるものは、「試験問題冊子1冊」、「解答用紙5枚」及び「下書き用紙5枚」です。追加配付はしません。
4. 試験開始の合図の後、試験問題冊子を確認してください。試験問題冊子は、表紙、白紙、問題（1ページ）の順に綴じられています。試験問題冊子、解答用紙及び下書き用紙に落丁・過不足のある場合、あるいは印刷が不鮮明な場合には、手を挙げて試験監督員の指示に従ってください。
5. 試験問題冊子の所定欄に、受験番号及び氏名を記入してください。
6. 解答用紙は、「大問題（試験問題冊子に第1問、第2問…と表示されています。）」ごとに使用し、解答用紙の所定欄に、プログラム名、氏名、受験番号並びに「大問題」番号及び「大問題」ごとに何枚目であるかを、解答用紙別に必ず記入してください。
小問題及び選択問題を解答する際の番号等は、解答用紙のマス目の左側の「小問題番号等記入スペース」に記入してください。
なお、問題文中に別途記入方法の指示がある場合はそちらに従ってください。
7. 解答用紙1枚につき、800字まで記入することができます。解答用紙5枚のうち、臨床心理学プログラムは5枚以内で解答してください。指定された字数に従って解答してください。
8. 試験問題冊子、解答用紙及び下書き用紙を綴じているホチキス針をはずしたり、中身を破り取ったりしてはいけません。
9. 試験問題冊子、解答用紙及び下書き用紙は試験終了後に回収します。試験問題冊子及び下書き用紙に解答を記入しても採点の対象にはなりませんので、必ず解答用紙に解答を記入してください。
10. 試験時間は2時間です。試験開始後40分を経過した後は、試験問題冊子、解答用紙及び下書き用紙を試験監督員に提出した上で、退室してもかまいません。ただし、試験終了5分前以降は退室できません。

臨床心理学プログラム 筆記試験問題

以下の5問について、それぞれ600字以内で答えなさい（アルファベットは大文字でも小文字でも2文字で1マスとする）。なお、解答用紙は各問1枚を使用し、解答用紙の所定欄に問題番号を記入すること（解答用紙は1枚に800字記入できるので、字数オーバーにならないよう、あらかじめ600字のあたりで線を引いておくといい）。

第1問

心理療法の終わり方には、どのようなものがあるか説明しなさい。また、それらを迎える際に行うことや心がけることについて説明しなさい。

第2問

クライアントにいくつかの心理検査を施行したとする。その結果は、どのようにまとめられフィードバックされることが望ましいか。心理検査や成育歴、現病歴などから得られる「事実や情報」、「臨床的主観」及びそれを補完する「間主観的理解」の3つをキーワードに説明しなさい。

第3問

中学2年生の女子生徒Aがスクールカウンセラーのもとにやってきた。「先生に言えないようなことだったら、スクールカウンセラーのところに行って話をしたらいいと思うよ」という担任からのアドバイスで来談を決めたという。彼女はつらい心の内をスクールカウンセラーに伝え、思い切ってといった様子で、実は自傷行為が止まらなくなっていると話した。そして、このことは絶対に親や先生には内緒にしてほしい、スクールカウンセラーだけの心の内に留めてほしいと頼んできた。

あなたがAのスクールカウンセラーだったとして、どのように対応するか。その理由も含めて述べなさい。

第4問

ソーシャルワークと臨床心理的地域援助は、いずれも支援対象となる人々の環境や社会的資源を考慮しつつ支援を行うものであるが、相違点もある。あなたは心理職として、①臨床心理的地域援助でどのようなことを大切にしたいか、②ソーシャルワークとどのように協働するのか、それぞれ考えるところを述べなさい。

第5問

あなたは、修士論文において、複数の研究対象者にインタビューを行いながら研究論文に取り組んでいると仮定する。所定の手続きを経て開始したのだが、インタビュー半ばにおいて、何人かの研究対象者が研究協力の撤回を申し出てきた。この際、研究者として、どのようなことに配慮すべきか述べなさい。